

みんなの笑顔がエネルギー！



矢板市シニアクラブ連合会／片岡長生会

コロナ禍での疲れを癒せればと、『窓ぎわのピーヒャラドンドン』と名付けて、高齢者福祉施設に入所している方に、窓の外から太鼓の音（お囃子）を届けていたクラブがあります。矢板市にある「片岡長生会（大類正雄会長：会員数24名）」です。片岡長生会では、クラブ内に「シニアクラブ施設慰問団 夢」を立ち上げ、民謡や舞踊、カラオケ等を披露しています。

「夢」の活動がはじまったのは、平成25年7月。参加している皆さんは「いつも笑顔で喜んでくれるのがうれしい。」と口をそろえて話します。最高齢の92歳になる野上秋人（のがみあきと）さんからは、「命のある限りがんばる！」と力強い言葉をいただきました。地域づくりに積極的に取り組む片岡長生会の活動を紹介します。

（※令和5年度全国老人クラブ連合会長表彰受賞クラブ）



会員の趣味・特技を活かして取り組んでいます！

コロナ禍以前は、施設を訪問し、民謡や舞踊などの芸能を披露するほか、特殊詐欺被害防止の啓発を目的として詐欺被害防止の寸劇を披露していた「夢」。
しかし、コロナ禍になると施設内へ入ることができなかつたため、「音だけでも聞いてもらいたい」という思いで、市内3か所の施設（玄関前）でお囃子を披露してきました。

お囃子は、大類会長が担当する笛をはじめ、メンバーが得意とする楽器（太鼓、カネなど）や唄、踊り、トーク（話術）などを活かして分担し、楽しく盛り上げます。
訪問先では「楽しみに待ってたよ。」
「一緒に唄ったり、笑ったりできて楽しい！」
「とても癒される。」と感謝され、その言葉をエネルギーに活動に励んできました。

現在は、特に高齢者に被害者が多い『詐欺被害』『交通安全（交通事故）』の注意喚起を図るため、警察署とも連携して、啓発活動を続けています。



左から 大類正雄会長、大類加代子さん、渡辺和子さん、野上秋人さん、舟山和子さん、計良（けら）正雄さん、大川孝男さん



交通安全活動

片岡長生会では、登校時の学童の見守り活動をはじめ、交通安全週間時の交通立哨等にも積極的に取り組んでいます。また、交通安全の意義・理解を深めるきっかけづくりにしたいと、大類会長が手作りした“掲示板”（過去の取り組みや新聞記事等）を公民館や矢板市内にある「城の湯温泉センター」等に掲示しています。

自分の住む地域を安全で安心して暮らせる地域にしたいと熱く語る大類会長、そしてメンバーの方々の思いが活動を支えていると感じます。

これからの活動に注目しています！



真ん中にあるのはチョコちゃん？



大類会長手作りの掲示板！

編集後記

取材当日、集まっていたいただいた方7名中、シルバー大学の卒業生（生きがい推進員）の方が5名いらっしゃいました。シルバー大学での経験や自分の得意なことを活かし、生き生きと活動していることにエネルギーをいただきました。（*^v^）

（一財）栃木県老人クラブ連合会事務局

〒320-8503

栃木県宇都宮市駒生町 3337-1 とちぎ健康の森 2階

TEL 028-621-4787 FAX 028-621-4767

E-mail tochi-ikiiki@tochigirouren.or.jp